

■舞台転換用出場団体向けマニュアル

※このマニュアルは、熊本県立劇場コンサートホール独特の次の特徴を踏まえた、スムーズな舞台転換のために、各団体の移動に関するマニュアルです。※

【熊本県立劇場コンサートホールの特色】

- ①下手側通路の扉を開けると、直ぐにステージです。
- ②下手側扉は、楽器を持った人は2列で通ることができる程度には開きます。
- ③下手袖の溜まりのスペースは、セッティング役員などがおり、各団体は並べません。
- ④下手側通路は幅2m無いくらいの比較的狭い通路です。
- ⑤下手袖は狭いですが、ステージ上には下手側に配置する打楽器類の順序・位置を入れ替えたりするスペースが確保できます。

①打楽器は誘導係の指示で、チューニング中の管楽器よりも早いタイミングで、演劇ホールステージ上からコンサートホール下手袖通路へ誘導が始まります。

※原則、往復がないように団員を付けてください。

※どうしても運搬の補助が必要な場合は、顧問・指揮者の方の責任で、役員に依頼してください。この場合、当然ながら細心の注意を払いますが、万が一楽器に不具合等が生じた場合（過失による破損等を含めて）、連盟は一切責任を負いませんので、予めご了承ください。

②下手袖通路には、大型楽器等（ティンパニやチャイム、マリンバ、ハープなど）を先頭において、順に小さなものになるようにしてください。

この場合の注意点は次の3つです。

※通路左手壁面に寄せて、1列で並べてください。

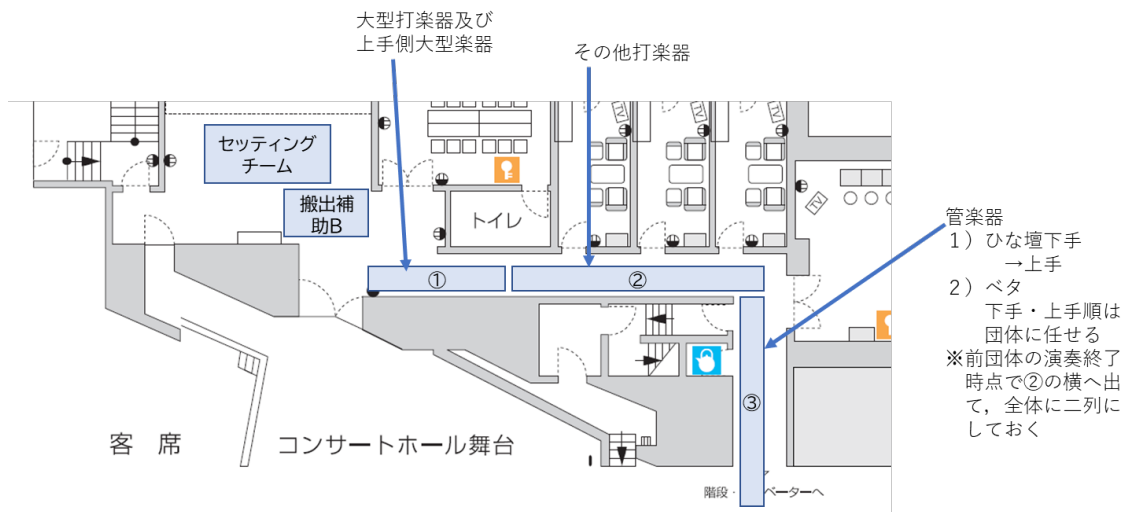
※楽器—運搬者—楽器—運搬者・・・の順に1列に並んでください（楽器の右横について、2列にならない）

※先頭の大型楽器の横には、上手側に配置される大型管弦楽器（チューバやコントラバス）が来ますので、そのことを予め理解しておいてください。

③管弦楽器の人たちは、チューニング室を出るときは、次の順に並んで1列で退室し、そのまま進み、役員の指示に従って、下手袖通路の打楽器の後ろに並んでください。

【並び順】

- 1 上手に配置する大型楽器を先頭 →そのまま進んで下手扉傍へ
- 2 ひな壇に上がる楽器（2段目からでも1段目からでも可）の下手側を先頭に
- 3 ベタに並ぶ楽器（下手側からでも上手側からでも可）



※この段階で、上図のような配置になります。

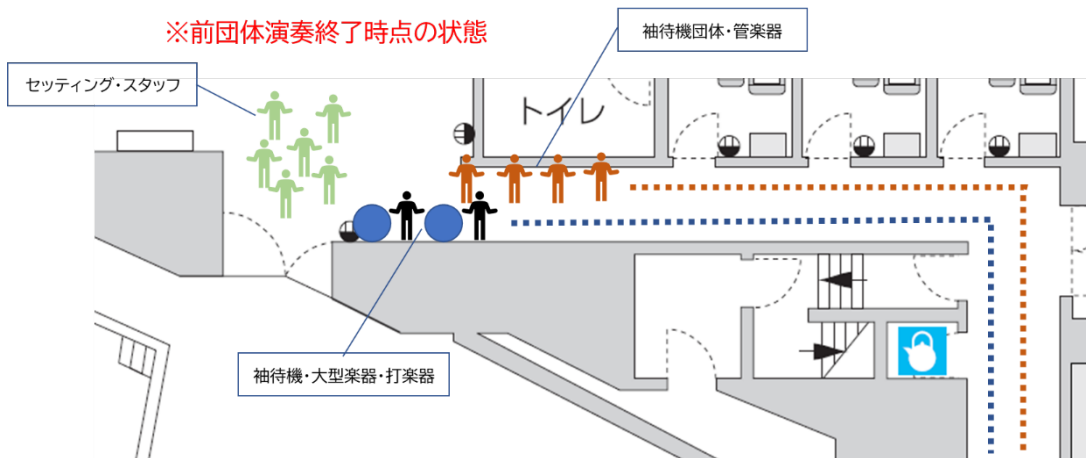
④前の団体の演奏が終了間近になると、役員が管弦楽器の人たちを、**打楽器が並んでいる右横を通して、下手袖近くまで誘導します。**

打楽器にぶつからぬよう注意して、1列で進んでください。

※前の団体の演奏が終わるまで、その場で待機となります。

かなり密になりますので、おしゃべり等は禁止します。

※前団体演奏終了時点の状態



※この段階で、上図のような配置になります。

⑤前の団体の演奏が終了したら、役員が下手扉を開けます。

⑥最初に、セッティング役員と打楽器搬出補助役員に入ります。

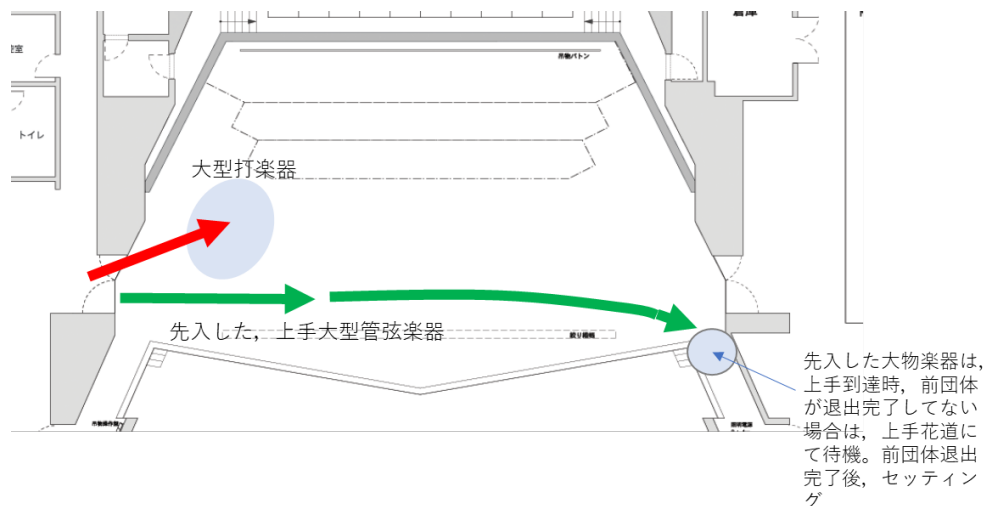
指示があるまでその場で待機してください。

⑦指示があったら、**先ず大型打楽器をステージ上に出してください。**

この時、**細かい配置順は考えずに、並んだ順に大型打楽器をステージ上に出してください。**

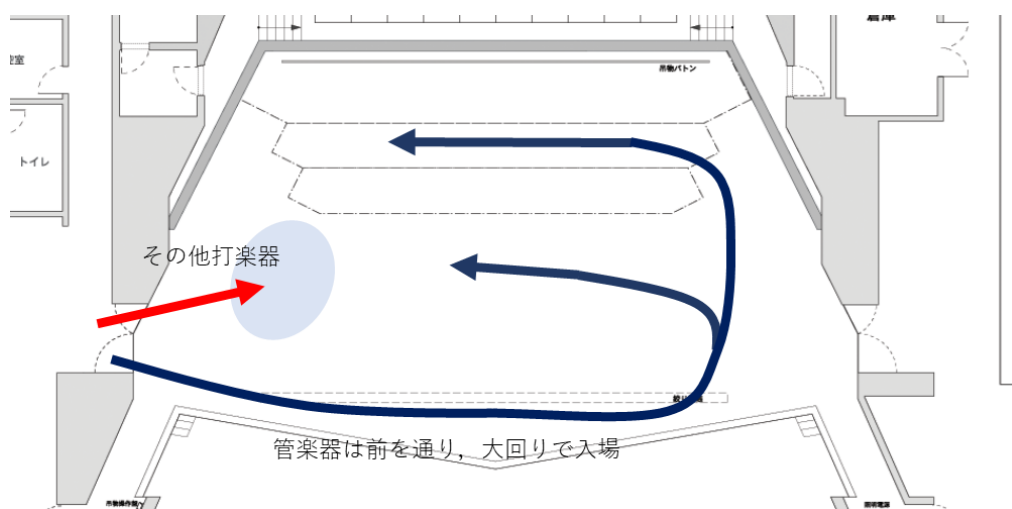
その後、各団体の担当者は、ステージ上で配置の調整にあたって下さい。

- ⑧これに続いて即座に、**上手側配置の大型管弦楽器**が入場します。
 この人たちは、**ステージ前方を通過して上手側まで移動**してください。
 ※前の団体の退場が終了していない場合、**上手側に花道**がありますので、そこで待機してください。前団体の退場終了後、セッティングに入ってください。



※⑦と⑧の動きです。

- ⑨大型打楽器・大型管弦楽器の入場後、役員が指示しますので**次の要領で2列で入場**してください。
- 1 他の**打楽器類は、左側1列**で入場し、およそのセッティング位置まで運搬
 - 2 **管楽器類は、右側（客席側）1列**で入場し、ステージ前方を上手まで迂回して入場



※⑨の動きです。

- ⑩自分の配置についたら、**位置の調整の前に譜面台と椅子を確認**してください。
 過不足があった場合は、ステージ上に役員がいますので、すぐ伝えてください。

⑪各位置の調整を、各団体の責任でおこなってください。

この時、顧問・指揮者あるいはリーダーとなる生徒・団員の方少なくとも1名は、必ず、指揮台の位置から指示を出してください。

※セッティング役員は、ひな壇上とベタを区別して、譜面台と椅子の数だけをそろえています。原則として、位置の調整はしていません。

⑫所定の転換時間が経過すると、原則として位置調整終了前であっても、進行係が退場し、アナウンス合図を出しますので、予めご了解ください。

⑬演奏が終了したら、管楽器奏者は次のように退場してください。

- 1 打楽器搬出補助にあっている奏者は、迅速に担当打楽器のところへ行き、移動を開始してください。
- 2 ひな壇上の奏者は、ひな壇を上手側まですすみ、2列で上手扉に向かってください
- 3 ベタの奏者は、次の点に留意してください。
 - ① 特に、ひな壇に一番近い列の奏者は、迅速に退出してください。
 - ② それ以外の奏者は、上手側からそのまま複数列で上手扉に向かってください

⑭打楽器は、次のように退場してください。

- 1 セッティング役員が、ひな壇前の椅子を除けて通路を作ります。
原則としてそこを通して上手扉より搬出してください。
- 2 往復が必要な場合は、上手袖(比較的広いスペースがあります)まで楽器を掃いたら、直ぐに戻り、舞台上から自団体の楽器を撤去することを優先してください。
- 3 搬出に手間取る場合は、搬出補助役員が手伝います。予めご了承ください。